

施策評価シート(令和元年度)

(基本施策の大綱) 2.健康で生きがいを持てる暮らしの充実

(基本施策) (6)文化芸術の振興と文化交流の促進

(評価担当者)

生活文化部長

佐久間 利夫

基本施策が目指す姿

市民が、文化的な個性や魅力にあふれたまちの中で心豊かに生活しています。

関連する分野別計画

亀山市文化振興ビジョン

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	亀山市芸術文化協会の団体数	団体	47	H27	43	40	38			50
2	亀山市芸術文化協会の会員数	人	728	H27	637	616	511			750
3	文化会館自主文化事業にかかる入場者数	人	16,746	H27	16,508	14,496	11,470			17,600
4	市主催等の公募展への出演・出展者数	人	2,341	H27	1,515	1,100	1,108			2,500
5										

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	芸術や文化に関わる機会が充実している	重要度 0.69	0.63		これまでにも様々な文化事業を展開することにより芸術や文化の振興を図ってきたが、市民の意識はあまり高まっておらず、満足度も前回より下がっていることから、かめやま文化年2020などで広く市民に意識が浸透するよう取り組みを強化する必要がある。
		満足度 0.56	0.64		
2		重要度			
		満足度			
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
B まずまず進んでいる	市の文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な考え方を示す、文化基本条例の制定に向けて検討委員会を立ち上げ検討に入った。また、かめやま文化年2020に向け実施計画を策定するとともに、イベントを市内3中学校及び亀山高校で実施するなどし、世代間・地域交流を行うとともに、文化年参画へのPRを行った。また、文化の拠点施設である文化会館においては、自主事業など各種事業が開催されるほか、施設面においては、電動昇降装置巻上機・ワイヤーロープの取替工事を実施するなど、市民の利用環境の向上を図った。その一方で、文化芸術活動では、様々な活動成果を発表する機会により、市民の活動意欲の向上を図ったが、亀山市文化芸術協会に所属する団体数・会員数が減少するなど、成果指標の数値が下降していることから、総合判定をBとした。
反省点・課題	
かめやま文化年プロジェクトの集大成となる、かめやま文化年2020は「かがやく」をテーマとし、今まで培ってきた文化にさらに工夫を加え、様々な団体が自己実現により満足感が感じられるよう、テーマに沿った各種事業、イベント等について検討し実施計画を策定したが、より多くの人に参画してもらい、亀山市の文化に触れてもらえるよう周知方法を工夫の上、積極的なPRが必要である。一方で、亀山市文化芸術協会の団体数・会員数ともに減少するなど、市民レベルの活動が目に見える形で広がっておらず、担い手の育成にも繋がっていない状況でもあることから、文化年事業のPR及び参画を促すことにより文化芸術に対する市民の活動意欲をさらに高めるよう取り組む必要がある。	

今後の展開方針

文化の拠点施設でもある文化会館の利便性向上に繋げるため、計画的な施設改修を行い長寿命化を図っていく。
かめやま文化年2020については、「かがやく」をテーマにかめやま文化年プロジェクトの集大成となるよう、広くPRし多くの方が参画していただくことで、文化芸術に対する市民の活動意欲を高め、担い手の育成に繋がる取組を進める。さらに、令和3年度に制定及び策定予定の市の文化芸術の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための、「(仮称)文化基本条例」及び「文化芸術推進基本計画」の制定及び策定にも繋げていく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		文化政策の推進				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	市民団体主体及び市関係部署との連携事業等の調整などを実施し、文化年プロジェクトの集大成となるかめやま文化年2020実施計画を策定した。また、条例検討委員会を立ち上げ、文化政策の基本的な考え方を示す条例の検討を行った。	評価	かめやま文化年2020実施計画は、前2回の文化年の集大成として、「かがやく」をテーマに、これまでの事業に創意工夫を加え策定することができた。また、条例の検討においては、次年度以降の制定作業の進め方について確認することができたので、令和3年度の条例制定に向け引き続き検討進める。		
				まずまず進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	3,600 / 2,147	A	A
事業以外の取組	内容				活動	成果

施策の方向		文化交流の促進				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	かめやま文化年2020のプレ事業として、文化大使林家菊丸氏の寄席を市内3学校及び亀山高校で実施するなどし、世代間・地域交流と次年度開催のPRを行った。また文化会館の指定管理者でもある地域社会振興会を支援し、文化会館による各種事業がスムーズに展開された。	評価	文化年プレ事業、文化会館各種事業の実施により、様々な人や団体が文化に触れ、文化交流できる機会となるよう、亀山の文化を市民だけでなく、市外・県外へも情報発信し、気運を高めることができた。		
				順調に進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17056	かめやま文化年事業	主	3,600 / 2,147	A	A
事業以外の取組	2010	地域社会振興会運営事業	標	32,090 / 32,090	A	A
	内容				活動	成果

施策の方向		文化の拠点づくり				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
A	活動	文化会館の大規模改修事業として電動昇降装置巻上機・ワイヤーロープの取替工事を実施した。また、いこか連携プロジェクトにより、伊賀市、甲賀市の市展入賞作品を本市美術展において展示した。	評価	工事の完了により、文化の拠点としての文化会館の施設整備を進めることができた。また、いこか連携によるネットワークづくりを進め、文化会館の有効活用を図ることができた。		
				順調に進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	17057	文化会館等大規模改修事業	主	38,720 / 38,720	A	A
事業以外の取組	19078	施設整備費(文化会館費)	標	720 / 594	A	A
	内容				活動	成果

施策の方向		文化芸術活動の活性化				
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】		【左記の活動により、施策は推進できているか】		
B	活動	市美術展をはじめ、俳句会、川柳会を開催した。また、亀山市芸術文化協会の自主事業、文化会館事業による文化会館フェスタの開催、市内各小中学校に合唱指導やプロの演奏家を派遣するアウトリーチ事業を補助支援した。	評価	様々な活動成果を発表する機会により、市民の活動意欲向上を図るとともに、芸術文化協会を中心とした各関係団体や子どもたちに向けた文化活動により、文化芸術の人材育成並びに市民の自主的な文化芸術活動を促進することができた。		
				まずまず進んでいる		
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]	活動	成果
	19074	一般事業(文化振興事業)	標	3,800 / 3,185	A	B
事業以外の取組	19076	市展開催費	標	2,936 / 2,710	A	B
	内容				活動	成果